

# 八王子障害者団体連絡協議会

## 2012年度定期総会議案書

### 定期総会式次第および提出議案

1. 開 会
2. 代表のあいさつ
3. 総会定足数の確認
4. 議長の選出
5. 書記の任命
6. 議事審議

第1号議案	2011年度 事業報告	2 p ~ 9 p
第2号議案	2011年度 事業決算報告	10 p
第3号議案	2012年度 事業計画 (案)	11 p ~ 13 p
第4号議案	2012年度 事業予算 (案)	14 p
第5号議案	2012年度 役員・運営委員の選出 (案)	16 p
7. 議長・書記の退任
8. 新期役員および運営委員のあいさつ
9. 閉 会

開催日時：2011年 5月26日(土) 13:30~15:30  
( 開場 13:00 )

会 場：八王子労政会館 第4会議室

**■情勢など…**

1984年末、当時計画が進んでいた「八王子市総合福祉センター（現東浅川保健福祉センター）」について、利用者側から考える横の連絡組織として八障連が発足、早くも四半世紀以上が過ぎ、私たちを取り巻く社会環境も、それまでの措置基本の福祉から、当事者支援へと大きく転換が図られました。そうした社会変動の影響もあり八障連の地域での役割も、大幅な軌道修正を余儀なくされています。

具体的などころでは、障害者計画を初めとした国・都の施策への当事者参画、また市施策の市民参画が急速に進む中、その受け皿として半ば一方的に位置づけられ、その人選や会議への出席に追われることが多くなる反面、現場を抱えての対応にも限界があり、対応に苦慮する場面も年を追って多くなっています。

**○小規模通所事業所の法内移行の問題**

また、自立支援法の成立後、東京都が小規模通所事業所等に対し法内移行を強く勧める一方で、運営の支えとしてきた補助事業の存続には何らビジョンを示さない中、八王子市もその状況を各現場に伝えるのみで、独自の考えを示さない行政としての弱腰姿勢が問われ続けています。そうした中、多くが様々な負担と葛藤を抱えながら、望まない選択肢として法内移行を進め、ほぼ8割が移行を完了させました。そうした中で、一部の地域デイグループには新制度への移行の道が示され、補助事業終了の時期も、条件付きで一年延長が示されました。しかし、それも一時的な救いにしかならず、民主党政権の姑息とも言える政策転換の下、自立支援法の廃止と新法制定が事実上の先送りとなる中、少人数の事業所等の法内事業に合致しない残り数事業所の去来が、大きな課題として残されています。

**○自立支援・生活支援事業所の増加**

一方で、自立支援法の施行を境に自立支援・生活支援を軸とする相談支援事業所・グループホーム・ショートステイが年々数を増やし、要となる地域自立支援協議会もようやく発足し、平行して障害者差別禁止条例の成立も図られ、これまで以上に行政との協力関係と連携も強化され、今後の地域福祉の大きな柱となることが予感されます。しかし、その一方で限界まで圧縮された委託費の基、経費を切り詰めての運営に追われる側面もあり、前途多難な現状も浮き彫りとなっています。

**○任意団体・当事者団体の現状**

さらに、現場を持たない任意団体・当事者団体においては、多くの団体で会員役員の高齢化が進み、次世代への新陳代謝が進まない現状も見え隠れする中で、公共機関のバリアフリー化等、一表面的な制度や社会環境の変化充実とも相重なる問題の複雑化もあり、これまでの対社会的アンチテーゼとしての存在価値から、専門知識を必要とされる行政や関係機関の要求に、追いついていない現状も見られ、活動

の停滞傾向も余儀なくされ始めています。

## ○八障連としての課題と模索

そういった団体個々の、目的意識が見出しにくい現状もあり、八障連の存在価値を対社会への運動体から、単なる情報収集の機関と捉える会員も増え、毎月の例会等は、現場の多忙さや直面する課題に乏しさを理由に、積極的な出席を控える団体が年々多くなり、結果として活動の停滞を招く大きな要因ともなっています。

そのような厳しい情勢の中で、八障連運営委員会としては四半世紀の時を重ね、八王子市において障害種別・団体種別を超えた運動や情報の要であり、財産であると捉えています。そして、この将来像が描けない社会状況の中にあっても、個々の団体や当事者が孤立状態に陥ることに歯止めをかけ、ネットワーク化を模索し、毎月の運営委員会と例会の開催、八障連通信の継続発行ができたことは、一定の評価を得ているものと考えます。さらに、自立支援法に関する情報は勿論、市内外の情勢の変化に関しても会員間で情報を共有し、行政との交渉も続けてきました。

また、前年度に引き続き、八王子市または社会福祉協議会の各委員会へも、多くの会員が委員として参画し、市政へのアプローチとして、市議会全会派の議員を招き懇談会を開催等、厳しい中でもより前向きな活動を進めてきました。

## ■加盟の状況

### 《新規入会》

恩方育成園（団体賛助＝2011年度）  
鈴木 亨（個人賛助＝2011年度）

### 《退会》

富士森の家（2011年度末）  
\* オープンスペース本郷町との合併に伴い  
<以上文責／夢田>

## ■活動の概要

### ●毎月の運営委員会と例会

- ・平成 23 年度は例会の活性化と時間の有効的な活用を計り、毎月各 1 回行っていった例会と運営委員会を 1 回にまとめて行いました。前半を例会、後半を運営委員会にする事によって、運営委員でなくても、オブザーバーではありますが、運営委員会に参加できることや、時間の都合で前半の例会に 1 時間だけ参加するといった、途中退出しやすい環境作りに努めました。

それに伴い、開始時間を今までの 19 時から、18 時へと変更も行いました。

例会の内容に関しては、整理が出来ていない面もあり、運営委員を含め、参加者全員が困惑する事も多くありましたが、年度終盤になっては、少しずつ会の進行もわかりやすいものになってきた印象を受けています。

## ●情報の共有方法

### ■八障連通信

- ・通信の内容のマンネリ化の改善と、より会員の皆様に読んでもらえるよう、通信の充実化を図り、コラムなどを様々な分野の方々から寄稿頂けるよう調整し、読み応えのある内容を心がけました。

＜以上文責／川出＞

### ■八障連ホームページ・八障連ブログ

・2010年5月に運営委員会からのお知らせや情報提供に活用する目的で、八障連ブログ（検索サイト Goo の無料ブログサービス）を開設し、その後、同年11月に八障連ホームページ（加入プロバイダの無料ホームページサービス＜当時＞）の開設を行い、会員専用ページから、通信、議事録、委員会報告等の資料を閲覧できるようにしました。その後、八障連事務所の長房通所センター撤退に伴い、固定電話や固定パソコンがなくなった事から、プロバイダ契約がなくなった為、無料のホームページサービス FC2 を利用するようになり、2011年12月に八障連ホームページを移転しました。移転先でも会員専用ページを設置し、通院、議事録、委員会報告等の資料を掲載しました。

会員専用パスワードは「8400」、アドレスは <http://hasshoren8.web.fc2.com/> となっています。

＜文責／有賀＞

## ■対「行政」への取組

### 1. 対市予算要望・政策提言等

総会における要望事項を基本に、今年度も取組を進めました。

#### ➤ 障害者福祉課との予算・政策等交渉

\* 8月26日：全体交渉（約40名）市役所 802 会議室

□八王子市内における重症心身障害児医療の問題（こあらくらぶ）

6項目が出され継続課題となる。

□障害者自立支援法移行問題

市：2012年度（H24年度）までは、現行の補助金制度が適応されることになった。しかし移行先がない所、移行が困難な所、10か所位については、1年間の中で考えて行きたい。

□家賃補助について

市：新体系への移行が円滑にかつ安定した運営ができるように作られた制度である。8割補助は今後見直しが必要と考える。新規は認められない。卒業生の増加については各施設で受け入れてもらいたい。

□日中一時支援事業の単価アップについて（ころぽっくる、第2高尾青年の家）

市：検討中

□移動支援（ガイドヘルプ）の15歳未満の適応について。

市：移動支援、日中一時支援は市の地域生活支援事業で財源的に難しい。通学、通勤への適用も気持ちは理解できるが難しい。

□災害時の対応、計画について（八聴協）

市：支援対策充実を図っていきたい。

＜文責／脇田＞

## 2. 八王子市障害者計画及び障害福祉計画ならびに

### 八王子市障害者地域自立支援協議会への参画

□ 八王子市障害者計画及び障害福祉計画について

今回も障害当事者委員の参画をめざし、身体障害として多田代表が、知的障害としてあさかわの田丸さんとリボーンの平松さんが、精神障害として多摩草むらの会の大窪さんが参加しました。今回は、後述しますいわゆる障害者差別禁止条例案の検討という大きな課題があったため、前回同様部会は設けず計11回の全体会で検討をしました。

八障連として特に取り組んでいる「通所施設等の整備」という施策項目では「通所施設等日中活動の場の充実を図ります」「新体系へ移行するのに課題が残る施設については、今後のあり方について関係機関と検討します」という施策内容になりました。

なお、今回はじめて、その対象期間が平成24～26年度の3ヵ年と障害者計画と障害福祉計画で同じ期間となり、施策の展開を定めた「障害者計画」（第4章）と（障害者自立支援法に基づく）サービス提供について定めた「障害福祉計画」（第5章）が、一体となった「社会参加支援プランはじおうじ～地域社会でともに支えあうしくみづくり～」として策定されました。

□ 八王子市障害者地域自立支援協議会について

障害者自立支援法に基づき「誰もが、障害の有無、年齢、性別を問わず、地域社会でともに支えあい、安心して暮らせるまちづくりを目指し、保健、医療、福祉、教育、労働などの分野で様々な人や機関と連携し、相談支援体制の充実などを図り、本人の意向に基づいた必要な支援を受け、生涯すべての場面において、自立した日常生活を営むことができる社会を構築するための協議の場として」平成23年3月に、下記の組織で、下記の事項を協議するために設置されました。

計画同様に障害者当事者委員の参画をめざし、今回は、障害者計画・障害福祉計画の当事者委員4名が全員兼務することになりました（任期3年）。

○協議する事項

①相談支援事業の運営等、②困難事例への対応のあり方、③地域の関係機関によるネットワーク構築、④社会資源の開発、改善、⑤障害者計画及び障害福祉計画の進

行管理、評価等

○組織（25名以内）

①学識経験者、②市指定相談支援事業者、③障害者支援機関、④障害者団体の代表者、⑤障害当事者、⑥保健医療関係者、⑦教育関係者、⑧社会福祉関係機関、⑨町会・自治会、産業経済の代表、⑩公募市民

○障害者差別禁止条例案検討部会

～障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例～制定まで

平成23年度は、唯一の専門部会として、障害者差別禁止条例案検討部会が設置され、10回に及ぶ部会での議論を基に、所管である障害者福祉課が庁内関係部署と調整し、条例案骨子を作成し、平成23年9月の経営会議で条例制定が承認され、9月のパブリックコメントを経て、平成23年12月の第4回市議会定例会に上程され、全会派一致で可決成立しました。

<文責／土居>

## ■市議会全会派議員との懇談会を開催

\*2011年12月9日（木）八王子労政会館 第4会議室

当日出席した議員13名中7名が11年5月からの新人議員でした。各団体の現状や課題を話すよりは、参加者全体で共有できる話題として『福祉のまちづくり』に関連した内容で進められました。

オリンパスホールや駅前再開発などでの計画から設計までの矛盾。担当者の認識の低さといったところから始まって、行政から障害当事者の立場で意見を求められることが増えてきた八障連が、今後まちづくりにどう関わっていけるのかというところまで発言が及びました。

課題として、様々な障害者団体が集まることから、共通の論点が見だしにくい点、今回は特に、話題が車いす使用者の側に偏ってしまったことなどが、反省点としてあげられるかと思えます。

<文責／杉浦>

## ■会員相互の交流

### 1) ボウリング大会の実施

会員相互の交流を目的とした「ボウリング大会」を平成24年2月4日（土）に例年通り高尾スターレーンにて開催しました。参加人数43名でした。昨年より若干参加者は減りましたが、集われた皆さんは元気いっぱいゲームに熱中しました。残念ながら事務局の不手際により景品を準備するのが間に合わず、ゲーム後の授賞

式ができませんでしたが、約束通り後日それぞれの所属の団体にお届けしました。来年はこのようなことのないよう万全の準備を期したいと思いますので、多くの会員の皆様の参加を心よりお待ちしております。

＜文責／山田＞

## 2) 忘年会の実施

12月15日20時より、毎年恒例の忘年会を「やる気茶屋 八王子駅前店」で開催しました。

＜文責／杉浦＞

## 3) 「リレートーク & 居酒屋トーク」を開催

10月28日、八王子ワークセンターとの共催で「リレートーク & 居酒屋トーク」を開催しました。テーマは「支援法に移行した団体の現場は、今!?!」、3人の方から現状を語って頂き話し合いを持ちました。その後「居酒屋」にてトークと交流をしました。

＜文責／脇田＞

## ■各種委員の推薦、在任中の委員の紹介

八王子市および社会福祉協議会の各種委員会に以下の方々が参画しました。

- 八王子市地域公共交通活性化協議会委員に、八王子障害者協議会の星野万喜人氏、八障連代表の埴田靖史が在任中です。
- 八王子市交通バリアフリー基本構想【JR八王子駅・京王八王子駅周辺地区】推進連絡会委員に、八王子視覚障害者福祉協会の小林文雄氏、ヒューマンケア協会の塚田芳昭氏、あっとほうむの丸山武氏、ポリオの会八王子の鈴木房子氏が在任、委員会の終了に伴い年度末をもって退任しました。
- 東浅川・南大沢・大横町3福祉センター合同運営協議会委員にはっぴーはうすの矢代美知子氏が在任中です。
- 八王子駅南口周辺地区まちづくり方針検討委員会委員に、工房みどりの風の伊東隆氏が在任、委員会の終了に伴い昨年末をもって退任しました。
- 平成25年東京国体八王子市実行委員会委員に、八王子セブンクラブの鈴木功一氏が在任中です。
- 八王子市地域保健福祉推進協議会委員に、結の会の脇田泰行氏が在任中です。
- 三多摩福祉有償運送運営協議会委員に、ヒューマンケア協会の塚田芳昭氏が在任中です。

- 八王子市社会福祉協議会歳末助け合い募金配分検討委員に、結の会の脇田泰行氏が在任中です。
- 八王子市社会福祉協議会ボランティア活動協議会委員に、第一若駒の家の杉浦貢氏が在任中です。
- 八王子市社会福祉協議会評議員に、個人賛助会員の大信正良氏が在任中です。

## ■八王子市障害者計画及び障害福祉計画策定委員会参画委員

平成 24 年度より実施される第 3 期八王子市障害者計画及び障害福祉計画の策定委員として、加盟各団体より以下の方々が参画しました。

多田 靖史	八王子障害者団体連絡協議会
中西 正司	生活支援センターぴあ・らいふ（ヒューマンケア協会）
田丸 俊彦	あさかわ
平松 慶子	ペットボトル中間処理事業所 リボーン
大窪 卓真	多摩草むらの会
土居 幸仁	NPO 八王子ワークセンター（八王子生活館）
芝 敏子	八王子福祉園（ゆうやけの里地域福祉フォーラム実行委員会）
山本 誠	わかくさ福祉会
松岡 都	多摩草むらの会
大須賀裕子	若駒ライフサポート（グループホームよこかわ）
高橋 義人	恩方育成園（団体賛助会員）
光岡 芳宏	ヒューマンケア協会＝知的当事者のサポーター＝

## ■八王子市障害者地域自立支援協議会参画委員

平成 22 年 3 月に設置された八王子市障害者地域自立支援協議会では、23 年 12 月市議会への上程をめざして、23 年 5 月に「八王子市障害者差別禁止条例案検討部会」を発足させました。当然ですが、この部会にも、知的、精神、身体（肢体・視覚・聴覚）の障害当事者が参加しています。また、非常に短期間での検討となりますので、会員団体をはじめとする障害関係者はもちろん、広く市民の方に関心をもってもらえるよう八障連としても協力して行いました。

尚、地域自立支援協議会および差別禁止条例案検討部会には委員として、加盟各団体より以下の方々が参画しました。

多田 靖史	八王子障害者団体連絡協議会
中西 正司	生活支援センターぴあ・らいふ（ヒューマンケア協会）
塚田 芳昭	相談支援センターサポート南多摩（ヒューマンケア協会）
田丸 俊彦	あさかわ
平松 慶子	ペットボトル中間処理事業所リボーン
大窪 卓真	多摩草むらの会
土居 幸仁	NPO 法人八王子ワークセンター（八王子生活館）



芝 敏子	八王子福祉園（ゆうやけの里地域福祉フォーラム実行委員会）
山本 誠	マインド八王子（わかくさ福祉会）
上田 広美	地域活動支援センターあくせす
風間美代子	相談支援センター待夢（多摩草むらの会）
大須賀裕子	若駒ライフサポート（グループホームよこかわ）
高橋 義人	恩方育成園（団体賛助会員）
光岡 芳宏	ヒューマンケア協会＝知的当事者のサポーター＝

## ■同上・差別禁止条例検討部会参画委員

杉浦 貢	八王子障害者団体連絡協議会（第一若駒の家）
塚田 芳昭	相談支援センターサポート南多摩（ヒューマンケア協会）
宮本 一郎	八王子市聴覚障害者協会
伊藤 薫	八王子視覚障害者福祉協会
浜川 努	多摩草むらの会
土居 幸仁	NPO 法人八王子ワークセンター（八王子生活館）
芝 敏子	八王子福祉園（ゆうやけの里地域福祉フォーラム実行委員会）
山本 誠	マインド八王子（わかくさ福祉会）
風間美代子	相談支援センター待夢（多摩草むらの会）
大須賀裕子	若駒ライフサポート（グループホームよこかわ）
高橋 義人	恩方育成園（団体賛助会員）

### オブザーバー参画

多田 靖史	八王子障害者団体連絡協議会
中西 正司	生活支援センターぴあ・らいふ（ヒューマンケア協会）

尚、障害者計画及び障害福祉計画の策定委員と地域自立支援協議会及び差別禁止条例案検討部会には、内容的に重複する事柄が多く、同時進行で進められることから、一部の方を除いてほぼ同じ方々が参画する形が取られました。

＜以上文責／夢田＞

以上、2011年度事業の概要をご報告致します。

## 第 2 号議案 2011年度 事業決算報告

2010年4月1日～2011年3月31日

科目		予算額	決算額	増減	備 考	
収入	年会費	740,000	539,660	▲ 200,340		
	ボウリング参加費	30,000	24,500	▲ 5,500	6団体分(計93名)	
	寄付金	0		0		
	雑入	1,000	281	▲ 719	通帳利子	
	合 計	771,000	564,441	▲ 206,559		
支出	事務局	人件費	264,000	324,000	60,000	事務報酬及び手話通訳代
		通信印刷委託費	60,000	65,000	5,000	通信発送手数料
		印刷費	90,000	114,502	24,502	通信印刷代
		通信費	200,000	220,171	20,171	通信印刷発送代・電話代
		消耗品費	30,000	2,297	▲ 27,703	領収書・ファイル代
		雑費	5,000	5,000	0	駐車場代・共同連会費
		計	649,000	730,970	81,970	
	事務局経費		4,524	4,524	22年度長房通所センター家賃・ほっとたいむ年間使用料	
	計	学習会費	10,000	-	▲ 10,000	
		HP製作費		-	0	
		福祉フォーラム費	10,000	-	▲ 10,000	
		ボウリング大会費	100,000	69,268	▲ 30,732	会場使用料
		会議費	5,000	16,734	11,734	会場使用料・景品代
		計	125,000	86,002	▲ 38,998	
	合 計	774,000	821,496	47,496		
当期事業収支差額		- 3,000	-257,055	-254,055		
前年度繰越金		1,430,502	1,430,502	0		
次年度繰越金		1,427,502	1,173,447	-254,055		

●茂木基金

収入	前年度繰越金	825,910
	利息	637
	第2期 貸付返済	300,000
	第3期 貸付返済	300,000
支出		0
収支差額	次年度繰越金	1,426,547

●ワークセンター貸付帳簿 全5期

H20.3.26.	貸付	1,500,000
H21.4.16.	第1期返済	300,000
H22.3.24.	第2期返済	300,000
H23.4.7.	第3期返済	300,000
H24.4.10.	第4期返済	300,000
	残額	300,000

※故茂木氏から寄付金(150万円)を特別基金として管理しています。  
平成20年度にワークセンターに150万円を無利子貸付しました。

以上の通り報告いたします。

平成23年 5月 13日

八王子障害者団体連絡協議会

事務局長 川出 勇

監査の結果、以上相違ない事を報告致します。

平成23年 5月 13日

八王子障害者団体連絡協議会

会計監査 清水 栄

## 第 3 号議案 2012年度 事業計画 (案)

八王子障害者団体連絡協議会（八障連）は、八王子市総合福祉センター（現・東浅川保健福祉センター）の建設を契機に産声を上げ、年度を追うごとに会員団体数も増加し、今日では正会員 74 団体、賛助会員 6 団体を数え、市内に活動の場を持つ、障害者関係団体のほぼ 8 割が加盟するに至っています。

私たち障害者を取り巻く社会状況も近年大きく変わり、障害者自立支援法の成立によって、福祉制度も措置から契約へと大きく変転する中、八障連が地域ではたす役割がより重要であることも、改めて求められています。

今年度も、これまでと同様に運営委員会体制を持続し、毎月の例会もより個々の問題意識に沿った、活発なものとして行こうと考えます。又、障害種別を超えたより幅広い視野を持つ総合的な組織体として、その役割の拡充を目指していきます。

さらに、今後も引き続き、種別の異なる障害当事者が抱える問題を、自分たちの大きな課題として捉えながら、誰もが地域に暮らす隣人として分け隔てなく、共に安心して暮らし続けることの出来る地域社会の創造を、今年度も引き続き基本姿勢としていきます。

また、問題山積みの「障害者自立支援法」も民主党政権の下、廃止と新法制定が事実上の先送りとなる中、八王子市でも昨年度ようやく「障害者地域自立支援協議会」が発足、また国・都に先駆けて障害者差別禁止条例が成立し、今後の動向が大いに注目される所です。八障連としてもこの地域自立支援協議会に積極的に参画するとともに、より早い状況の把握と迅速な対応に努めていきます。ただ単に制度や法律の問題に止まらず、身近な問題や課題を一つひとつ取り上げながら、地道な活動を進めていくことで、その共有化と解決の道筋を、会員個々と共に考え行動して行きます。

## ■加盟の状況

### 《新規入会》

田中 拓哉 （個人賛助＝2012 年度）

伊東 隆 （個人賛助＝2012 年度）

### 《年度当初会員数》

正会員＝74 団体      団体賛助会員＝6 団体      個人賛助会員＝6 名

<以上文責／夢田>

## ■活動の概要

### ●毎月の運営委員会と例会

- ・ 情報共有の場として、毎月 1 回(第 3 木曜 18 時から 19 時クリエイトホールを基本会場として)定例の例会を行います。
- ・ 八障連の円滑な運営を図る為、毎月 1 回(第 3 木曜 19 時～20 時クリエイトホールを基本会場として)運営委員会を行います。

<文責/川出>

### ●情報の共有方法

- ・ 毎月 1 回、八障連通信の発行を通じ運営委員会・例会の議事録、障害者福祉に関する社会状況など情報の共有を行っていきます。
- ・ 八障連の活動と会員各団体の情報や各種の障害者問題をより多くの方に知って頂くために、ホームページ、ブログを引き続き運営し、会員、一般閲覧者への情報発信を行います。

課題として、

◎ブログは一方的な情報提供の形であること。

◎ホームページは会費を払っていることの格差を設けるためにパスワード保護の会員専用ページを設置しているが、有効に機能しているかどうか、また広く情報を発信するという意味では弊害になっていると思える。

以上、2 点を改善して行きたいと思えます。

<文責/有賀>

## ■対「行政」への取り組み

### 1. 対市予算要望・政策提言等

\* 現在、要望事項を掘り起し検討中です。

\* 尚、この事前配送にアンケート用紙を同封しました。各団体・事業所として提案を希望する事項がありましたら、ぜひお聞かせ下さい。また、総会当日も別途時間を取り、議論できればとも考えております。

<文責/脇田>

## 2. 八王子市障害者計画及び障害福祉計画ならびに

### 八王子市障害者地域自立支援協議会への参画

#### □ 八王子市障害者計画及び障害福祉計画について

障害者地域自立支援協議会では、その協議事項に、障害者計画及び障害福祉計画の進行管理、評価が定められていますので、平成 23 年度の実施状況を精査するとともに、平成 24 年度の進捗状況についても把握し、25 年度 26 年度に向けて修正・改善を提言していきます。

#### □ 八王子市障害者地域自立支援協議会について

平成 24 年度は、条例案検討部会の発展的解消を受けて、今後条例を軸に、障害のある人たちの権利擁護を推進していくための「権利擁護推進部会」と入所施設や病院から地域への移行とともに、今地域で暮らしている人たちが、今後も継続して地域で暮らし続けられるような支援をしていくことということで「地域移行・継続支援部会」の2つの部会を中心に活動していきます。

また、「地域移行・継続支援部会」については、その範囲がとても広いので、活動していくなかで、就労等必要に応じてあらたな部会を作っていく予定です。

<文責／土居>

### ■市議会全会派議員との懇談会の開催

前年度に引き続き、市議会議員の方々により深く障害者福祉の問題を理解し、市政に反映していただくことを目的に、市議会全会派の議員を招いての懇談会を開催します。

<文責／杉浦>

### ■スペシャル・フォーラムの開催

昨年度計画しましたが、会場の確保が出来ず実行できませんでした。今年度は改めて企画します。

会員の研修を兼ね、他の地域で横断的組織での運動を行っている団体との交流学習を行います。是非ご参加下さい。

### —埼玉「わらじの会」との交流イベント—

日時：2012年6月9日（土）午後1時～4時

会場：マロウドイン八王子（八王子市三崎町6-11）

<文責／脇田>

## ■会員相互の交流

### 1) ボウリング大会の実施

2012 年度も例年通り 2 月頃をめどとして会員団体相互の交流を目標としたボウリング大会を開催します。 <文責/山田>

### 2) 忘年会・新年会の実施

会員相互の交流を図り、親睦を深める場として今年も昨年と同様の時期を目安に忘年会を開催したいと思います。 <文責/杉浦>

## ■各種委員会への新規推薦委員の紹介

八王子市の各種委員会に以下の方々を本年度新規に推薦しました。

- 八王子市交通バリアフリー情報交換会委員に、前審の八王子市交通バリアフリー基本構想【JR 八王子駅・京王八王子駅周辺地区】推進連絡会に引き続き、八王子視覚障害者福祉協会の小林文雄氏、ヒューマンケア協会の塚田芳昭氏、あっとほらむの丸山武氏、ポリオの会八王子の鈴木房子氏を推薦しました。
- 自立支援協議会・権利擁護に関する調整委員会委員に、代表の多田靖史を推薦しました。

<文責/山田>

以上、ご提案を致します。

# 第4号議案 2012年度事業予算(案)

2012年4月1日～2013年3月31日

	科目	11決算	12予算	増減	備 考	
収入	年会費	539,660	920,000	380,340	前年度未回収会費 20万を計上	
	ボウリング参加費	24,500	25,000	500		
	寄付金		0	0		
	雑入	281	500	219		
	合 計	564,441	945,500	381,059		
支出	事務局	人件費	324,000	324,000	0	事務報酬 5,000円×5名×12ヶ月+ 2,000円×12ヶ月×1名
		通信印刷委託費	65,000	60,000	▲ 5,000	通信委託費
		印刷費	114,502	100,000	▲ 23,222	通信印刷費
		通信費	220,171	230,000	18,549	通信発送費・プロバイダー・電話・年 会費振込手数料
		消耗品費	2,297	5,000	2,703	事務用品
		雑費	5,000	5,000	0	
					0	
	計	730,970	724,000	▲ 6,970		
		HP 製作費	-		0	
		福祉フォーラム	-	100,000	100,000	会場使用料・講師謝礼
		ボウリング大会	69,268	70,000	732	ゲーム代・景品代
		会議費	16,734	15,000	1,266	会場使用料・お茶代
		事務所経費	4,524			
	計	86,002	185,000	94,474		
合 計	821,496	909,000	87,504			
当期事業収支差額		-257,055	36,500	293,555		
前年度繰越金		1,430,502	1,173,447	▲ 257,055		
次年度繰越金		1,173,447	1,209,947	36,500		

## 第5号議案 2012年度 運営委員等人事（案）

### 1, 運営委員

有賀	豊	(リサイクルわかくさ)
多田	靖史	(パオ)
土居	幸仁	(八王子生活館)
脇田	泰行	(結の会)
松岡	都	(夢来)
川出	勇	(ピアわかくさ)
山田	輝生	(ほっとスペース八王子)
池谷	匠	(八王子市地域腎友会)
杉浦	貢	(第一若駒の家)
丸山	武	(あっとほうむ)
伊東	隆	(個人賛助会員)

以上 11名

### 2, 役員

代 表	多田	靖史	(パオ)
副代表	脇田	泰行	(結の会)
	杉浦	貢	(第一若駒の家)
事務局長	川出	勇	(ピアわかくさ)
会 計	丸山	武	(あっとほうむ)

### 3, 監事

会計監査	清水	栄	(プレアデス代表取締役：個人賛助会員)
------	----	---	---------------------

以上、ご提案を致します。